

### 3 達成目標と取組目標

※すべてを削減ではなく、真に必要なか不要かを検証していく。

		項目	平成30年度実績	令和5年度目標
達成目標	勤務時間	最終退勤時刻	20時過ぎに退勤 約5人/日	全員、19時まで退勤(目標18時)
		定時退勤日	強化月に水曜18時まで残留 約2人/日	全員、毎週水曜日 ※1
		週当たりの在校時間	平均 約54時間 +α休日出勤	平均、週50時間以内 ※2
		月当たりの残業時間	平均 約35時間 +α休日出勤	平均、月30時間以内
		自宅等での残業時間	不明	平均、週4時間以内
	勤務日数	年次有給休暇(年休)	10日間未満の教員 25%	全員、15日間以上取得 ※3
		夏休	5日連続取得 60%	全員、5日連続取得 ※4
		休日出勤	原則認めていないが、約4~6人/日	原則認めない
		土曜授業・夏季授業	土曜5日間・夏季休業中3日間	土曜3日(運動会、音楽会、探究発表会)
		学校組織	校務組織	4部会・2委員会・2PT(計8チーム)
取組目標	業務支援	校務分掌	1人が4つの分掌に所属	1人が2つのチームに所属
		チーム編成	1チーム7~8人編成(教員の半数)	1チーム3~4人編成
		ルーティンワーク	ルーティンワークも部会委員会に含む	庶務として独立ルーティン化
		校務支援ソフト	掲示板の活用を開始	回覧、欠席、施設予約等も活用
	業務削減	特別支援	教員の特別支援コーディネーターが兼務	特別支援教室専門員を週4日配置
		教育支援員の配置	年間約1,900時間	年間約2,000時間に増
		教育支援員の活用	個別の学習支援、個別の特別支援等	外国語活動170時間等に支援拡大
		校務改善軽減	週3時間の授業時数減(教員1人のみ)	業務内容を明確に示す
	会議等 ※5	放課後補習教室	指導員による指導 週1日程度	ふじみ寺子屋を授業時間帯に実施
		教育活動等	担当教科数	担任は7~9教科、20~25時間/週
授業時数			余剰時数 6学年計225時間	余剰時数 6学年計60時間に減
共同担任制			担任2人で学年経営	さくら、専科を加えて4人で学年経営
学校公開			学校公開18回	3学期に各1回(内、土曜日1日)
保護者会			年間5回	次年度以降の2割削減を検討予定
宿泊行事			5年移動教室 二泊	一泊に減
通知表・要録作成			道徳所見欄追加	さらに外国語所見追加(中学年)
学校評価アンケート類			保護者1回、児童4回以上、職員2回	保護者・児童・職員を統一して1回
調査統計等への回答等			大学等の調査にも可能な範囲で協力	任意のアンケート調査等は回答しない
時間外	15分間の打合せ時間		朝会廃止、放課後16時間、夕会28時間+α	朝・放課後0時間、夕会等40時間
	60分間の会議時間	年間34回、34時間 +α時間外多数有り	年間31回、31時間 時間外無し	
	60分間の作業時間	年間21回、21時間 +α時間外多数有り	年間40回、40時間 時間外無し	
	1~2時間の研修時間	年間13回、16時間	年間19回、23時間 時間確保	
時間外	(上記の内数)職員会議	年間12回×60分、各回議題平均15件	年間5回×60分、各回3~5件	
	(上記の内数)運営会議	年間5回×15分	年間15回×60分	
	市の全員参加の出張	年間12回、29時間	年間14回、35時間	
	外国語活動	高学年35時間	高学年70時間 中学年35時間に増	
	クラブ活動	年間15回、20単位時間	年間11回、15単位時間に減	
	水泳指導	1学期5回、夏季10回、2学期1回	1学期のみ5回、夏季休業中無し	
	夏季の教育活動	水泳10回、補習15回、家庭訪問全学年	補習10回、家庭訪問を個人面談に	
	運動会	練習期間18日間、リレー練習16日間	練習期間・リレーとも10日間に減	
	学校図書館	読み物と絵本の蔵書割合が6割超	教科等で活用できる蔵書を順次拡充	
	ICT環境	大型TVと実物投影機各2台を予算化	全教室に順次拡充予定	
時間外	縦割り班活動	会議23回、活動12回	次年度以降の3割削減を検討予定	
	Q-Uアンケート調査	市の調査に加え、学校独自に全学年1回	市で実施する調査のみに限定	
	学力調査(国・都・市)	国等の調査に加え、学校独自に全学年1回	国等で実施する調査のみに限定	
	夜間の会議(対外)	任意参加	教員は原則、参加を禁止	
時間外	休日の行事等	任意参加	教員は原則、年間1回程度とする	
	教員スポーツ大会	年3回、事前練習あり	必要最小限の任意参加	
	職員の親睦会等	歓送迎会や忘年会等も任意参加	任意参加(参加自由)	

※1 原則、毎週水曜日を定時退勤日とする。水曜日に定時退勤できない場合は、他日に振り替える。

※2 在校時間50時間とは、月当たりの残業時間がおおむね30時間となる状態を週当たりに換算。

[ 始業30分前出勤+勤務時間7時間45分+休憩45分+残業1時間(夜6時退勤)で、1日10時間の在校時間 ]

※3 例えば、毎月半日(年間5日)+長期休業中(2日×3回)で11日間の取得となる。

※4 例えば、夏休5+閉庁日2(振休等)+閉校日3(年休等)と土日を合わせると最大16連休も可能。

※5 29年度実績は記録上の値で、実際は時間延長や時間外がかなりの時数になる。30年度は勤務時間内に収める。